

## 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予察防除情報第7号

## 茶 クワシロカイガラムシの防除対策について

本虫の第2世代の防除時期が近づいています。下記の点を参考にして適期防除をお願いします。

## 記

## 1. 発生状況等

- (1) 本虫第2世代のふ化盛期は、下表のとおり平年並と予測される。

表 クワシロカイガラムシ第2世代のふ化盛期予測日（7月9日時点）

地区名	標高(m)	令和元年	平成30年	平成29年	平年 (過去10ヵ年)
東彼杵町太の原	360	7/23	7/16	7/24	7/23
五島市上大津	77	7/15	7/10	7/12	7/14

注1) 方法は「有効積算温度則による防除適期予測法（農林技術開発センター茶業研究室）」により、東彼杵町太の原（農林技術開発センター茶業研究室による測定値）、五島市上大津（アメダスデータ）で予測した。

なお、それぞれ7月9日以降のデータは東彼杵町太の原過去5ヵ年平均、五島市上大津平年値を用いた。

注2) 気温が高くなるとふ化盛期が早まる可能性があるので注意する。

- (2) 6月後期の巡回調査（16筆）における寄生株率は5.0%（平年11.9%）、発生圃場率は37.5%（平年47.7%）であった。

## 2. 防除対策

- (1) ふ化後の幼虫が1回脱皮してロウ質のカイガラを作りはじめると、薬剤の効果が低下するので、ふ化盛期（5.0%ふ化卵塊雌率が半数となった日）～ふ化盛期5日後までに防除する。現地ではふ化状況を調査している場合は、その調査に基づいて防除時期を判断する。なお、同一地区内の圃場でも標高や土地条件により気温が異なり、ふ化盛期が前後する場合がありますので注意する。
- (2) 株内の枝や株元に薬剤がかかるように十分量散布する。
- (3) 薬剤散布にあたっては、使用基準を遵守する。

○6月1日から8月31日までの3か月間を「農薬危害防止期間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

